

産科・周産母子センターに通院中の方またはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 妊娠中の交通安全指導による産後の新生児へのチャイルドシート使用についての意識ならびに交通事故遭遇率の変化(多施設前方視的研究)

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 森川 守 (産科・周産母子センター 准教授)

[共同研究機関名・研究責任者名]

NTT 東日本札幌病院産婦人科	西川 鑑 先生 (部長)
札幌医科大学病院産婦人科	石岡 伸一 先生 (准教授)
札幌東豊病院産婦人科	菅原 正樹 先生 (院長)
札幌マタニティウィメンズホスピタル	高後 裕匡 先生 (理事長)
市立札幌病院 産婦人科	平山 恵美 先生 (副部長)
JCHO 北海道病院 産婦人科	山田 俊 先生 (主任部長)
手稲溪仁会病院 産婦人科	福士 義将 先生 (部長)

[研究の目的]

わが国でも核家族化やショッピングセンターの郊外化に伴い、自家用車に新生児を同乗させる機会が増えています。それに伴い新生児の交通事故遭遇率も増えています。産後 1 ヶ月検診でアンケート調査を行い、チャイルドシート使用率を評価します。その際、妊娠 35-37 週にチャイルドシートに関するリーフレット配布によって、チャイルドシート使用率が変化するかどうか評価します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

北海道大学病院産科を含む札幌市内の主要産婦人科 8 施設で産後 1 ヶ月健診を受診した褥婦に無記名式アンケート調査を行う。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：使用しない(無記名式アンケート調査の結果解析のみ)

アンケートについては、北海道大学病院 産科・周産母子センターに集約して解析を行います。

[研究実施期間] 実施許可日～2019年6月30日（登録締切日：2018年12月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する情報は、無記名式アンケートのため、お名前、住所など、個人を特定できる情報は記載されておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 産科・周産母子センター

担当医師 森川 守

電話 011-706-5678(外来)/5789(病棟)/5941(医局)

FAX 011-706-7711